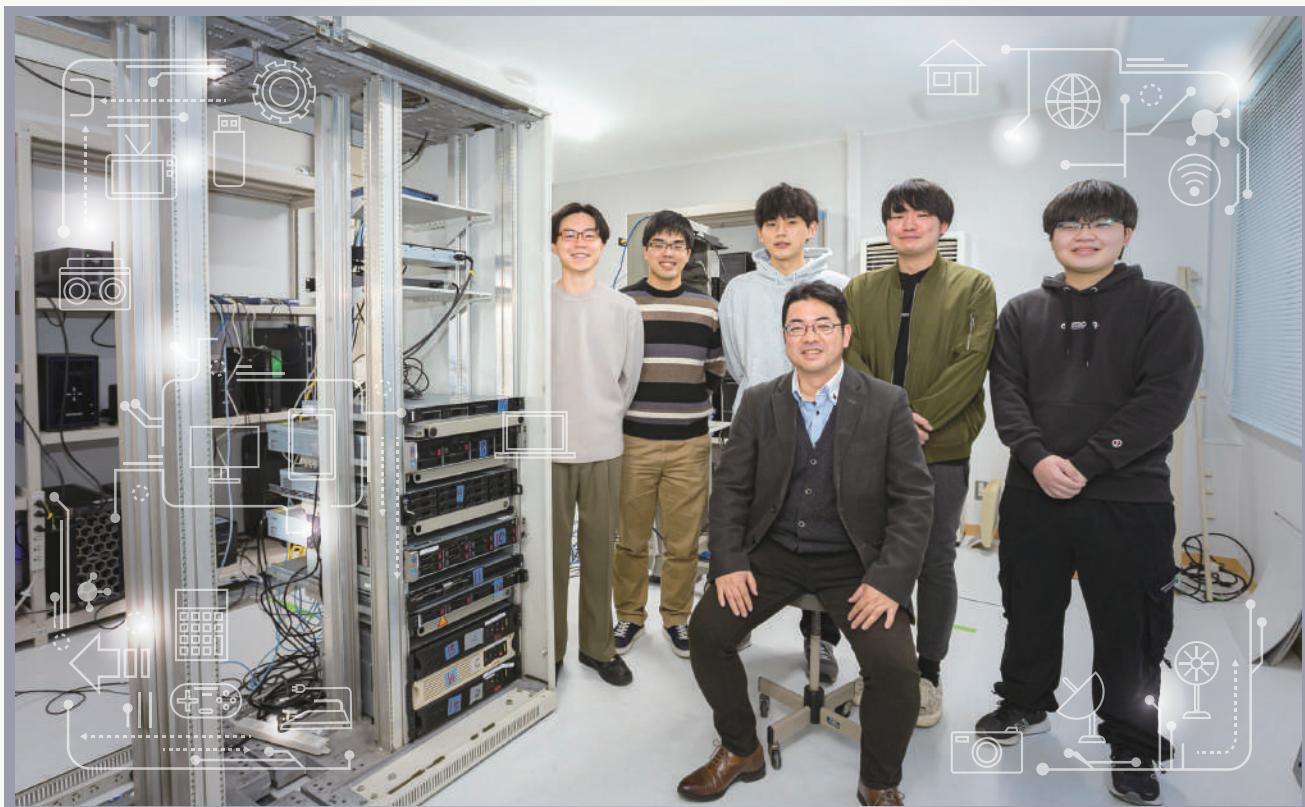


# K 立大通信

## YUTECH TIMES

VOL. 61  
2023.4.1  
SPRING

KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY



大学を使いたおせ!  
九工大のおトク



10選



テルモ株式会社  
岡田 拓磨さん



九工大的 -UR都市機構コラボ-  
ビフオーフフタ



“キャリア相談”を活用して  
「効果的」に就活を進めよう

デザイン  
工房

戸畠・飯塚両キャンパスにある九工大生専用の工房です。3D プリントを始めレーザ加工機、カッティングマシン、各種工具などが無料で利用可。手を動かしてのづくりは工学の原点。頭の中のイメージを形にしていくことでよりアイデアも拡がるはず!



## 図書館

いまさらですが大学の図書館もフル活用すればかなり有益。書架にある本だけでなく電子書籍やウェブで見られる論文・新聞などさまざまな資料が読み放題 ^^. 館内は Wi-Fi やオンライン授業が受けられる個人ブースも完備。学生サポートや司書に質問すれば、試験や課題も効率的に進められるかも?! まずは図書館に足を運んで見てください ^^.



図書館も進化!

健康支援や  
相談窓口

保健センターでは、体調がすぐれない際の一時的な休養場所としての活用はもちろん、ココロやカラダについての医師や保健師、カウンセラーに相談できます。また、学生総合支援室にはキャンパスライフの困りごとがなんでも相談できる「学生なんでも相談窓口」もあるので、まずはここに相談を!

インターンシップ型  
アルバイト

仕事内容を学生の専攻分野に関することに限定したアルバイト。授業などで習得した知識・スキルを活かせるだけでなく、社会の現場で職業選択、適性の見極めを体験することができるなど、インターンシップとしてのメリットも。スキルアップ、社会経験、アルバイトと一挙両 (3?) 得 (^^)/



# 九工大のおトク

授業料以上に、目一杯活用しよう!

10選



## GYMLABO



2022年5月にオープンしたGYMLABO。卒業生から「学生時代にこんな場所が欲しかった!!!」の声多数! 自習はもちろん課題を仲間と議論したりサークルの打合など用途にあわせて多様に活用できます。企業とのコラボイベントも多数開催。オープンスペースにあるオーストリアの名器、ベーゼンドルファーのピアノも誰でも演奏可能!

ランゲッジラウンジ(戸畠)/  
グローバルコミュニケーション  
ラウンジ(飯塚)

九工大キャンパスには留学生もたくさん。そんな彼らとのゲームなどイベントによる異文化交流や、数々の語学プログラム(レベル毎に対応した英会話レッスンだけでなく、韓国語、フランス語、中国語講座なども)を開催しています。キャンパスにいながらもうそこは「グローバル」!

大学を使いたおせ!



10選



## 学生プロジェクト

九工大の特色のひとつである学生PJ。プロジェクトの企画・提案から、活動資金調達・管理、組織マネジメント、実施報告などすべて学生の手で進めます。PJはロボットや衛星、フォーミュラカーの開発から、アプリ作成や街おこしまで多種多様。同じ志を持った仲間とともにづくりのプロセスを学び得た経験は社会に出た後、きっと役に立つはずです。

海外留学  
プログラム

コロナで停滞していた海外留学も徐々に再開 (^^)/ 短期や中長期だけでなく、海外の大学と九工大の2つの学位(ダブルディグリー)を取ることも可能! 「留学したいけど何から始めたらいいかわからない…。」という方はまずは相談窓口へ。卒業生アンケート「学生時代やっておけば良かったこと」でNo.1の中長期の海外留学。今しかできないことにチャレンジしてみては?



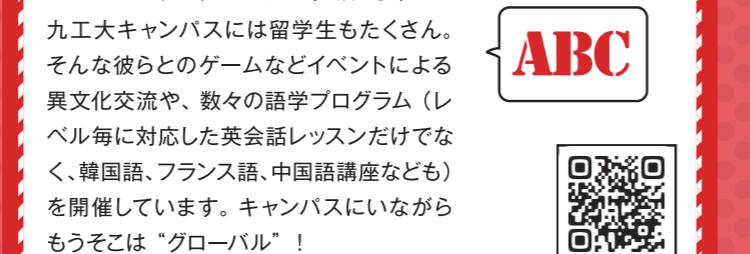
## 講義(選択科目など)



## ABC



※一部履修制限があります。

就職支援  
プログラム

個人でおこなう就活ですが、大学もさまざまな就職支援の取り組みを行っています。九工大生を求める多くの企業が集まる学内合同企業説明会をはじめ、専門のキャリアコンサルタントによるキャリア相談(P7参照)、SPI模擬テストや公務員模試・ガイダンスなどなど。自分の将来を決める大切な選択、ぜひ大学の支援も活用して納得できるキャリアプランを描いてください! タイムリーな情報はtwitterもチェック!



**Q3** 他キャンパスの大学院を選択した理由を教えてください

有機物と無機物を混ぜると予想しないものができるという、ある講座での教授の雑談をきっかけに有機物と無機物の複合材料に興味を持ったためです。学部の4年生から無機結晶と有機イオンからなる液晶の研究に取り組みました。大学院からは以前から興味のあった身体を治療する有機・無機複合体を研究するために他キャンパスの生命体工学研究科に進学しました。

**Q4** 学部ではどんな事を学びましたか

応用化学科で有機化学や無機化学、物理化学、化学工学など化学について幅広く学びました。実は、当時の教科書をまだ手元にたくさん置いていて、現在の業務でわからぬことがあると開いています。

**Q5** 現在の会社を志望した理由と今のお仕事内容を教えてください

基礎研究から設計・製造まで二つのチームで取り組むというユニークな研究開発の仕組みに惹かれています。自分のアイデアを形にして、それを創造する環境まで「デザイン」できることが魅力でした。現在は、人工血管の開発を手がけています。体に埋め込む医療機器という高リスク製品であるため、競合他社は少なく開発に携われること自体非常に珍しい経験です。そのような製品の開発・製造に携わることに責任感とやりがいを感じています。

**Q6** 大学での学びが仕事で役立つてありますか

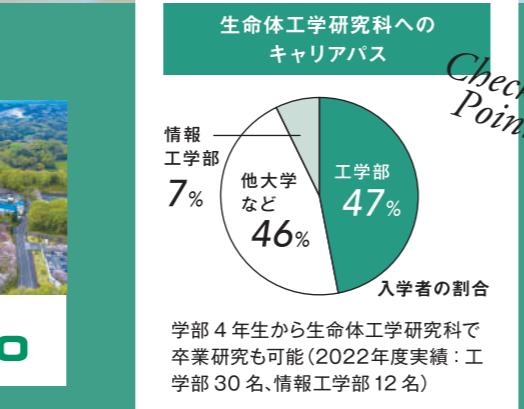
メーカーの製品はさまざまな分野の技術の集合体です。そのため、専門の違う技術者と関わることが多く、在学中に身についた工学に関する広い知識が円滑なコミュニケーションに役立っています。また、分野の異なる学生が集まる院生時代の影響で、専門の化学以外の分野に対する抵抗はなく様々なジャンルの業務に抜擢されました。今では自分が設計した設備が製造工程に使用されなど、技術者としての幅が広がりました。

**Q7** 学生時代にもっとしておけば良かったと思うことはありますか

英語です。入社3年目で海外出張をはじめ、グローバルなウェブ会議やプレゼンなども増えてきてるので英語の重要性を感じています。特にウェブ会議では相手の表情も見えないので不安になることもあります。

**Q8** 九工大の学生に就職活動のアドバイスをお願いします

九工大は就職活動へのサポートが手厚く、キャリア形成入門など講義も充実。さらにOBとの繋がりも強いため、希望する企業に入社しやすい環境が整っています。直接のテクニックなども必要かもしれませんのが、研究を通して課題を解決する経験や母国語の力を伸ばしてください。それが面接でも入社後の業務でも活ける力になると思います。



## 就職先のご紹介

## テルモ株式会社

「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念を掲げ、100年の歴史を持つ日本発の医療機器メーカー。体温計の国産化から始まり、設立以来、医療の基盤を支え続けてきました。現在は世界160以上の国と地域で事業を展開し、カテーテル治療、心臓外科手術、薬剤投与、糖尿病管理、腹膜透析、輸血や細胞治療などに関する幅広い製品・サービスを提供しています。テルモは、患者さんや医療従事者をはじめ、広く社会にとって価値ある企業を目指します。

## 卒業生インタビュー

medical device company  
医療機器メーカー



WORKPLACE  
テルモ株式会社



九工大の幅広い学びが生きる  
さまざまな分野の技術が集結して生まれるものづくり

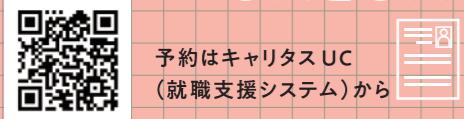
# CAREER DESIGN



こんなこと相談していいのか?なんて考えなくて大丈夫。進路に関するあなたの思いをなんでも伺います。



## CHECK!



<https://uc-student.jp/kyutech/>

02

### 実際の相談内容は?

北九州市役所は面接が重視されるため、面接について計4回キャリア相談を利用しました。面接時の基本的なマナー指導に加え、独自に調査いただいた過去の面接内容をもとに練習を重ねました。最初は自分の考えをうまく言葉にできませんでしたが、本番は自信をもって挑むことができました。



01

### キャリア相談を利用したきっかけは?

北九州市役所を志望していましたが、周りに同じ公務員志望の人があらず、先輩からの情報もなく、対策を立てることが難しい状況でした。そんな時、研究室の先輩からキャリア相談を勧められました。



### キャリア相談利用者の声



04

### これから就職活動を始める九工大生へのメッセージ

学外にも同様のサービスはありますが有料(高額)のものがほとんどです。九工大では無料でキャリアコンサルタントの方に相談でき、的確なアドバイスがいただけます。より自信をもって就職活動を進めるためにもキャリア相談はとてもオススメです!



03

### 利用してよかったです?

もともと話すことに苦手意識はなかったのですが、緊張すると声のトーンが下がってしまうことを指摘されました。気づかないまま本番に挑んでいたら面接官にネガティブなイメージを与えていたかもしれませんので、自分では気づかない改善点を客観的な目線で見つけてもらえてよかったです。



# TOPICS

九工大とUR都市機構は2021年に人材の育成と持続可能なまちづくりの実現に関する連携を開始。その一環としてUR沖戸二丁目団地(北九州市戸畠区)で学生のアイデア、デザインを取り入れた団地並びに地域の魅力を高めていくプロジェクトが始動しました。



PLAN B

### 「長ベンチがつなぐ暮らし」

物部 果穂さん 工学部建設社会工学科4年

#### コンセプト

自室にこもりがちな最近の家族のカタチを変えたくて、開口がある北口と南口をつないで、一挙に家族団らんの軸にし、「長ベンチ」を配置しました。長ベンチは視覚的効果としてだけでなく、机や収納として利用することができます。最適なベンチの幅を何度もスタディを繰り返して考えました。

どっちに住みたい?



Before



2023年3月

リノベーション住宅が完成。

After

なんという  
ことでしょう♪

PLAN B

約8mの  
長ベンチ



和室のダボレール収納▶



こだわりの  
ワーカブルクローゼット

◀DIYが可能なフリーアレンジウォール

PLAN A

「暮らしおよぶ  
～ワーカブルクローゼット  
のある暮らし」

東 英和さん 大学院工学府工学専攻1年

#### コンセプト

自宅で仕事をするスペースと、収納の2つの機能を兼ね備えた「ワーカブルクローゼット」という部屋を作ったこと。もともと行燈(あんどん)部屋と呼ばれる窓のない間取りを逆転の発想で活かしました。左右のキッチンと和室をガラス戸でつなぐことで、家族をいつも見守りながら過ごすことができます。

#### ここに感動!

学生という立場でありながら、自分のデザインした作品が商品になるという経験ができた点です。はじめは授業の一環として造っていたものが、途中からお客様目線というリアルになってきて、人のために物を創るとはこういうことか、と実感できました。



PLAN A

## INFORMATION

九工大  
News

## 超小型人工衛星の運用数、6年連続世界一!!

宇宙産業に関するアメリカの調査会社「BryceTech」によるレポート「SmallSats by the Numbers 2022」が発表され、「大学・学術機関における運用する小型・超小型衛星の数」において本学はまたも1位に。2018年から2023年までの6年連続世界一といつ快挙を成し遂げました。

九工大は2012年に鳳龍式号を大学として初の衛星として打ち上げに成功し、その後、鳳龍四号やBIRDS'AOBA-Verox III 'FUTABA' KITSUNEなど現在まで27機の衛星を打ち上げ、運用を行つたしました。

2023年もMAXAによるMASHプロジェクトに九工大が提案した「高精度姿勢制御6U衛星による宇宙可視光背景放射観測で探る天体形成史」が採択され、超小型天文衛星「VERTECS」の開発がスタート。他、「LEOPARD」「BIRDS-X」「YOTSUBA-KULOVER」「MTSUBA-R」といった衛星も続々開発中です。今後の九工大の衛星開発に期待ください。



2022年に打ち上げられた衛星KITSUNE▶

## 九工大の取り組みをご紹介



報紙より

## “技術でかなえる自然との共生”を展示中!@YE デジタル

YE デジタル（小倉北区米町）の1Fショールームで、九工大の研究の取り組みが展示されています。

「技術でかなえる自然との共生」と題した今回の展示では、「海を守るために無線通信による水中IoTシステム」として、本学IoTネットワークノベーション実証研究センターで取り組んでいた Beyond 5G（次世代通信）技術を軸に、自律型水中ロボットTuna-Sand2（社会ロボット具現化センター）、海上の移動体等との通信実証をしている衛星KITSUNE（革新的宇宙利用実証ラボトリー）について大きな壁面や模型などを交えてわかりやすく紹介されています。また、漂着ドミが多い海岸で人と連携して海岸清掃をおこなう「ピーチクリーンロボット」などについてもパネルでわかりやすく展示されています。



## Beyond 5Gで実現する安心で快適な未来づくり

飯塚キャンパス 情報工学部 情報・通信工学科 塚本 和也教授

国内の一部地域でしかサービスが提供されていない5G（第5世代移動通信システム）ですが、2030年にはその次の世代となるBeyond 5G、あるいは6Gの導入が予定されています。Beyond 5Gは「高速・大容量・低遅延などこれまでない機能が高度化するだけではなく、新たな機能が付加されます。データ通信 자체の安全性確保、そしてなによりBeyond 5Gネットワークそのものが知能を持つようになる」という特徴です。それによって私たちの生活がどう変わるのか？実はまだわかりません。しかし、便利で快適な社会実現への大きな可能性を秘めていることは確かです。例えば、バスで出かけようとするとき、今は自分で情報を探しますよね？それが、自分にとって必要な情報だけを即座に手に入ることができるようになります。これはほんの一例。ネットワーク機器が知能をもつようになれば、一人一人にきめ細やかなサービスを提供できるようになります。

塚本研究室では、ネットワーク機器が知能を発揮するためのシステム作りを行っています。どのようなデータをどうかかげて集め、どう使うか？といった土台作りですね。九工大は日本でつかれた所のみに設置されている情報通信研究機構のBeyond 5G実証ネットワーク（テストベッド）が使える環境が整っています。現在は通信性能の評価段階ですが、今後は「畠キャンパス」にあるドローンを飯塚から操作するといった実験も行います。ユニークや台湾の大学とも連携して新しい試みも始める予定です。安心で快適な未来づくりに興味がある学生さん、ぜひお待ちしています！



わざと隠しています



▲飯塚キャンパスに設置しているBeyond 5Gアンテナ



国立大学法人

九州工業大学

KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY